

一般社団法人 社会医学系専門医協会
2024年度(2024.7-2025.6)事業計画

【 期 間 】

第八期：2024(令和6年)年7月1日～2025(令和7年)年6月30日

【事業計画】

1. 社会医学系の専門医、指導医の育成と生涯学習に関する事業

1) 指導医講習会の開催

各学会・団体で年1回程度開催

※現状はeラーニングでも1回分受講可

2) 統括責任者連絡会議の開催

3) 基本プログラム講習会の開催

基本プログラムのeラーニングコンテンツの更新を行う(コンテンツは収集済み)。

4) 必修共通科目(安全・感染対策・倫理)について開催

各学会・団体で開催するときは、3か月前までの申請があれば、審査の上でK単位としてカウントすることを承認する。

日本専門医機構が認定している共通講習や、大学病院での施設内講習やEラーニングはK単位も付与する。

※更新ルール、シニア世代に対する特例措置による社会医学系専門医・指導医の制度、ミドル世代への受験資格の拡大について、特に変更点がわかるようなかたちで整理のうえ周知・徹底の発信を専門医指導医認定委員会にて行う。

5) eラーニングの活用と運営

社会医学系eラーニングコンソーシアムの共同運営および基本プログラムのeラーニングコンテンツの更新等、eラーニングの有効な活用を促進する

6) 更新研修会の開催(更新研修会=専門医・指導医が資格の更新に必要な研修会)

更新ルールのさらなる周知・徹底 ……更新研修会の主催は各学会・団体

K単位研修:構成団体(情報掲載と名簿報告を協会に送る)

受講証明:構成団体が発行

指導医講習会と共通講習の確認は専門医・指導医認定委員会

2. 社会医学系専門医、指導医の認定に関する事業

1) 専門医・指導医認定委員会の開催

専門医・指導医認定委員会を下記の通り3回開催する。

回数	開催日	概要
第1回	2024.9.8	第6回専門医認定試験の合否判定 試験の振り返り
第2回	2024.12.XX	更新申請の状況の報告 更新申請に係る審査(更新、保留、延長、辞退・逝去、未反応に分類) 特例措置による社会医学系専門医・指導医の審査 第7回専門医試験実施要項の検討
第3回	2025.6.XX	第7回専門医認定試験の受験資格審査 第7回専門医認定試験の実施方法(試験分科会からの報告) 「専門医・指導医の更新について(更新手続き・今後のスケジュールのご案内)」(2025年度更新申請用)の検討

2) 専門医・指導医の認定・登録、認定証の交付

3) 専門医認定試験の実施と運営

試験分科会を、下記の通り3回開催する。

試験実施要綱など情報発信、試験の準備を行い、2024年9月に第6回専門医認定試験を実施する。

回数	開催日	概要
第1回試験分科会	2025.3.XX	専門医認定試験実施要項の検討
第2回試験分科会	2025.4.XX	専門医認定試験実施要項の検討 面接試験の実施方法の検討
第3回試験分科会	2025.6.XX	試験問題のブラッシュアップ

4) 専門医・指導医資格更新基準の理解の普及

5) 専門医、指導医のシニア世代、ミドル世代への追加認定の制度化

- ・ まだ専門医や指導医の普及の余地があるため、十分に適切な実績・研修等をもって専門医や指導医を認めるために制度化された、シニア世代に対する特例措置による社会医学系専門医・指導医の制度、ミドル世代への受験資格の拡大について、制度の普及・定着を図る。
- ・ ただし、その際も、専攻医の研修を経て専門医になりさらに経験を積み実力を向上し指導医にな

るという本来の道筋の魅力を損なうものであってはいけない。

※シニア世代: 医師免許取得後 20 年以上経過した者

ミドル世代: 医師免許取得後 10 年以上経過した者

6) 専門医制度の法制化を目指した活動

標榜できる専門医、法的に位置づけのある専門医(研修プログラム変更等に厚労大臣の許可が必要)となることを目指し、情報収集を含む必要な活動を行う。

(2024 年 4 月に医事課長に「三師調査への掲載」の要望書を提出した。その後の展開に合わせて活動を行う)

3. 専門研修プログラムと研修施設の認定に関する事業

- 1) 研修プログラム認定委員会の開催(年間 4 回を予定)
- 2) 研修プログラムの登録申請受付、認定、登録
- 3) 全国の研修プログラムの質管理(各プログラムの年次報告をまとめる、フィードバックする)
- 4) 基本プログラム相当の講義等の新規認定、維持・更新
- 5) 研修記録の様式の更新

4. 社会医学系専門医制度の評価と発展に関する事業

1) 企画調整委員会の開催

年 4 回程度、電子的開催が中心(対面会議は 2 回まで)

総会・理事会の審議事項のレビュー等

2) 広報の検討

学会等での展示

第 83 回日本公衆衛生学会総会(2024/10/29~30、札幌)で要望があれば実施する予定

その他の学会等でも実施したい(無人ブースであっても)

ニューズレターとメルマガ

従来の形で継続し、情報発信する予定

3) 連携の検討

・日本医学教育学会との合同シンポジウム(第 56 回日本医学教育学会大会 2024/8/9~10)

日本医学教育学会×社会医学専門医協会合同企画「パネルディスカッション-医学教育学と社会医学の共通性-」

- 00-05: 座長1: 錦織 宏 先生(名古屋大学・日本医学教育学会)
 座長2: 磯 博康 先生(国立国際医療研究センター・社会医学系専門医協会)
- 05-15: 登壇者1: 守屋 利佳 先生(北里大学・日本医学教育学会)
 「日本医学教育学会の取り組み及び認定医学教育専門家制度について」
- 15-25: 登壇者2: 今中 雄一 先生(京都大学・社会医学系専門医協会)
 「社会医学系専門医協会の取り組みークロスキャリア及び友好学会制度の構築ー」
- 25-35: 登壇者4: 森下 真理子 先生(京都大学・日本医学教育学会)
 「医学教育学と社会医学, 人文社会科学との近接」
- 35-40: 登壇者5: 亀田 義人 (順天堂大学・社会医学系専門医協会)
 「医療・病院管理学領域での医学教育の取り組みと重要性」
- 40-50: 準備+バッファー
- 50-90: パネルディスカッション

・第 83 回日本公衆衛生学会総会でのシンポジウム(2024/10/29~31)

(1) シンポジウム趣旨・概要

社会医学と臨床医学を別物・別世界とする見方は、既に旧式のステレオタイプとなっている。

社会医学と臨床医学とは、その実践と科学において、別々の独立単体ではなく、連続しており、相互補完的でもある。公衆衛生に加え、臨床医療・臨床研究、人材育成、健康危機管理、制度・政策の視点から、具体例をもって検討を深め、社会医学と臨床医学の連続性・相互補完性をより有効に活用した相互発展へと繋げる。

(2) シンポジウムタイトル:

社会医学と臨床医学の連続・相互補完

(3) 構成

座長1: 今中雄一先生(社会医学系専門医協会理事長・京都大学)

座長2: 和田裕雄 (社会医学系専門医協会業務執行理事・順天堂大学)

シンポジスト4名:(交渉中です)

矢野晴美先生(ACP 日本支部長・国際医療福祉大学(成田))

錦織宏先生(日本医学教育学会・名古屋大学)

今中雄一(社会医学系専門医協会・京都大学)

特別発言: 林修一郎先生(厚生労働省)

・第 83 回日本公衆衛生学会総会での指導医講習会

(1) 日時: 2024 年 10 月 29 日(火) 18:20~19:20

(2) 場所: 札幌コンベンションセンター特別会議場

・American College of Physicians (ACP) Japan Chapter(米国内科学会・日本支部)

年次総会・講演会 2025 年度も参加予定(6月?)。

1. 今後、合同シンポジウムを企画・検討する。

2. 医療機関紹介企画での広報動画（2022年度・2023年度実績 5.5万円）

・以上のような学会等での企画（シンポジウム等）に関する予算を確保する。（審議願）

1. 社会医学系専門医協会の構成学会総会へ招聘する場合と、協会の会員が非構成学会に参加する場合とがある。

2. 確保する予算は、30-50万円／学会 × 3学会／年 = 150万円（限度）

4) 社会医学系の医師人材の確保・育成の促進

是非、活用していきたい。

1. マンガ、動画、インタビュー記事など

2. プライバシーポリシー改定と専攻医・専門医・指導医への調査が可能となったことを受けて、新たな調査を検討する（現場での課題や研修会で取り上げてほしいテーマ等）

3. 保健所の動画

5) 社会医学系専門医・指導医に関するデータおよびそれを用いた研究について

研究データの解析・発表を行う予定

6) その他、当制度のレビューと維持・発展に関する検討

5. 社会医学系専門医の普及及び啓発に関する事業

1) ニュースレターの発行（年4回予定）、専門医・指導医の取得・更新に関する単位の情報載せる

2) メルマガの配信（専攻医・専門医・指導医あてに重要なお知らせ、適時）

3) ホームページの更新（随時）

4) 上記の他、広報に関する事項

5) 構成学会での展示

構成学会との合同シンポジウム

ACP、日本医学教育学会との連携を深める

6) 当協会の役割についての更なる検討

一般の人々も含めた公衆衛生の普及、社会医学系の医師の確保の推進などの当協会の役割についてもさらに検討していく

6. 法人運営のための事業

1) 社員総会の開催

定時社員総会：2024(令和6)年9月頃に開催。

臨時社員総会：理事の交代の承認、定款改正、社員承認規程、旅費規程、報酬規程の承認など随時開催。

2) 理事会の開催

年3回開催

2024(令和6)年9月XX日 決算(定時社員総会の前)

2025(令和7)年2月頃 協会運営に関する事項の検討

2025(令和7)年6月頃 事業計画、収支予算等

3) 業務執行理事会の開催

適時開催(各総会・理事会前など)

「計画の進捗管理、課題の洗い出しと対応、予算管理、収支管理、情報管理システムの検討等」

4) 事務局業務の効率化について

事務局機能の管理、業務の効率化・システム化を行う

旅費規程、報酬規程を作成し、運用する。

5) 友好社員制度の創設

友好社員制度の創設に向け、以下のタイムスケジュールで検討を行う。

(2024(令和6)年6月頃 臨時社員総会(定款改正、社員承認規程の承認))

2024(令和6)年6月~8月 協会HP上で友好社員を募集

2024(令和6)年8月 業務執行理事会(加盟申請書の審査)

2024(令和6)年9月 定時社員総会(加盟申請書の審査、意見聴取、承認)

以上

2024年度 社会医学系専門医協会予算

科目	2024年度予算	2023年度予算	差額	備考欄
(収入の部)				
事業収益	31,992,670	38,500,000	△6,507,330	
申請料収入	7,107,470	6,000,000	1,107,470	
専門医試験料	2,376,000	800,000		120人
更新審査料	4,335,470	5,150,000		更新年150人、更新延期189人
特例措置審査料	396,000	50,000		40人
認定登録料収入	7,385,200	9,000,000	△1,614,800	
年間登録料収入	17,500,000	17,500,000	0	
雑収入	10,000	143,651	△133,651	
受取利息	10,000	10,000	0	
雑収益	0	133,651	△133,651	
当期収入合計 (A)	32,002,670	38,643,651	△6,640,981	
前年度からの繰越金	100,000,000	100,000,000	0	
収入合計 (B)	132,002,670	138,643,651	△6,640,981	
(支出の部)				
事業費	55,250,307	49,026,640	6,223,667	
旅費交通費	6,930,000	7,380,000	△450,000	オンサイト、ハイブリッドを想定
総会	280,000	280,000	0	
理事会	840,000	840,000	0	
業務執行理事会	360,000	360,000	0	
委員会・分科会	4,050,000	4,500,000	△450,000	
専門医試験実施	500,000	500,000	0	
その他	900,000	900,000	0	
会議費	2,950,000	2,850,000	100,000	オンサイト、ハイブリッドを想定
理事会・社員総会	270,000	270,000	0	
委員会・部会費	760,000	660,000	100,000	
会議室使用料	1,300,000	1,300,000	0	
専門医試験会場費等	500,000	500,000	0	
ネット会議システム使用料	120,000	120,000	0	
印刷製本費	1,821,500	2,385,000	△563,500	
コピー・プリント代	1,500,000	1,500,000	0	
認定書等印刷	246,500	510,000	△263,500	更新対象者減
パンフレット・チラシ印刷	75,000	375,000	△300,000	
通信運搬費	1,272,900	2,335,000	△1,062,100	
消耗品費	700,000	700,000	0	
E-ラーニング保守管理費	3,900,000	4,100,000	△200,000	
E-ラーニング教材作成費	500,000	700,000	△200,000	コンテンツの編集作業
E-ラーニングシステム利用費	3,400,000	3,400,000	0	
開発保守費	7,500,000	7,500,000	0	
HP作成費	1,000,000	1,000,000	0	
会員管理・申請システム	4,000,000	4,000,000	0	
研修記録管理システム	2,500,000	2,500,000	0	
支払手数料	116,640	116,640	0	
謝金	5,410,000	2,960,000	2,450,000	
研修等講師謝金	1,960,000	1,960,000	0	
広報活動講師謝金	400,000	0	400,000	
専門医試験謝金	1,050,000	1,000,000	50,000	
テキスト作成謝金	2,000,000	0	2,000,000	
租税公課	1,519,267	70,000	1,449,267	消費税については前年度0円のため、概算で計上
事務委託費	19,830,000	15,330,000	4,500,000	
協会事務局委託	13,500,000	12,000,000	1,500,000	
公認会計士委託料	330,000	330,000	0	
専門医試験事務委託	3,000,000	3,000,000	0	
テキスト作成事務委託	3,000,000	0	3,000,000	
調査活動費	2,000,000	2,000,000	0	
研修費	300,000	300,000	0	
雑費	1,000,000	1,000,000	0	
その他	1,000,000	1,000,000	0	
雑費	0	0	0	
当期支出合計 (C)	55,250,307	49,026,640	6,223,667	
当期収支差額 (A) - (C)	△23,247,637	△10,382,989	△12,864,648	
次期繰越収支差額(B) - (C)	76,752,363	50,973,360	25,779,003	